

腋窩リンパ節微小転移の検索と臨床的意義

腋窩リンパ節への転移の有無は重要な予後予測因子となるため、その状態の正確な把握は非常に重要です。最近の病理組織学的検索の進歩により、非常に小さな段階でのがんのリンパ節転移を検索できるようになりました。しかし、そのような微小転移の臨床的意義については、いまだ議論が残るところです。いわゆる微小転移とは、直径 2mm 未満のリンパ節への転移であり、現在のところは、0.2mm 以下の非常に小さな転移は isolated tumor cell(ITC)と表現し、0.2-2.0mm までの転移は micrometastasis と呼び区別をしています。AJCC TNM 分類では、ITC はリンパ節転移陰性(n0)とし、micrometastasis はリンパ節転移陽性(n1)としておりますが、更なる検討が必要となると思われます。